学校番号	３２３

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	＜体育＞ 柔道・バレーボール ハンドボール	単位数	３ 単位	年次	２年次
使用教科書	「現代高等保健体育　改訂版３０４」　（大修館書店）						
副教材等	「現代高等保健体育ノート　改訂版３０４」　（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

２　学習の到達目標

・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動を大切にする。
・相手の多様な動きに応じた基本動作から、相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防の楽しさを味わう。
・試合のルールを理解し、生涯にわたって、スポーツを楽しめるようにする。
・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・各種目の授業に主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動ができる。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康、安全を確保する。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続し、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。

評価方法	・授業態度 ・グループノート ・レポート	・授業態度 ・グループノート ・レポート	・授業態度 ・技能テスト	・授業態度 ・グループノート ・審判実技 ・レポート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	柔道	・1年次の復習 ・受身 ・技の習得 （体落とし・大外刈り・大内刈り・足払い） ・動きながら技をかける ・連絡技、変化技の習得	○	○	○	○	a:しっかり話を聞くことができ、指示通り行動することができる。礼法がきちんとできている。 ・グループ学習の中で、教えあいなど協力することができる。 b:指示を聞き、何をするかを考え、活動する場所の安全確保や、周りの危険回避をすることができる。 ・個々のできないことや、苦手なことを、グループノートにまとめることができる。 c:正確な形で技に入れ、安全に投げることができる。 ・どんな体勢であっても、受身を取ることができる。 ・相手の重心移動を感じながら技に入ることができる。 d:技の名称と特徴が理解できている。	授業態度 グループノート 技のテスト

	ハンドボール	パス ドリブル シュート	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: ハンドボールにおいての基礎的な技術を習得している。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	出席状況 受講態度 実技テスト
	バレーボール	・ボールコントロール ・サーブ ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:バレーボールの自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:バレーボールの基本的技能であるオーバー（アンダー）ハンドパスの技能を身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、ルール、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	出席状況 受講態度 技能テスト レポート

2学期	ハンドボール	フットワーク パス&ランからのシュート フェイント ディフェンス ゲーム	○	○	○	○	a: ：球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d: 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	授業態度の観察 レポート 技能テスト

	バレーボール	・リーグ戦	○	○	○	○	a：健康・安全を確保している。バレーボールに関心をもつとともに、学習を主体的に取り組もうとしている。プレイやジャッジに対して公正な態度を大切にしようとしている。 b：自分やチームの特徴を踏まえた練習方法を選んでいる。仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 c：基本的な技術を身につけている。 d：バレーボールの技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。課題解決の方法について、理解したことを言ったりしている。ルールや審判の方法について、学習した具体例を挙げている	出席状況 受講態度 実技テスト 試合結果

	柔道	・ルールを理解する ・乱取り稽古 ・寝技の習得 ・模範試合	○	○	○	○	a: しっかり話を聞くことができ、指示通り行動することができる。 ・礼法がきちんとできている。 ・グループの役割を意欲的にできる。 b: 指示を聞き、何をするかを考え、活動する場所の安全確保や、周りの危険回避をすることができる。 c:相手の動きに応じた体さばきや、返し技、得意技、連絡技を積極的にかけることができる。 ・安全に投げることができる。 ・どんな体勢であっても、受身を取ることができる。 d:試合におけるルールを理解する。 ・正確に記録をすることができる。 ・適切な審判ができ、試合をスムーズに進めることができる。	授業態度 グループノート 乱取りテスト 審判テスト
	水泳	平泳ぎ	○	○	○	○	a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができる。水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、積極的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:平泳ぎの特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d:泳法や、体力の高め方の方法を理解している。	受講態度の観察 技能テスト タイム測定 25m・50m

3学期	長距離走	距離走 長距離走大会 12分間走	○	○	○	○	a:持久走の楽しさや喜びを味わうことができるように互いの違いや良さを認めあうこと、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって持久走を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:持久走の特性に応じた、効率的な走法を身につけている。 d:技術やの名称、用語、表現の仕方など、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	タイム測定 1500m 2000m 3000m 距離測定 12 分間走

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。